

『アポロ11 ～境界へのまなざし～』

早稲田大学芸術学校空間映像科二年次写真展 開催のご案内

今から 38 年前の夏、1969 年 7 月 16 日、アポロ 11 号は、まだ見ぬ未開の地である月に向かって飛び立った。

今回、私たち 11 人がやろうとしていることは、これまで見ることのなかった未開の世界へ、そして見落としていた日常の世界へ意識を向け、この世界に境界を見つけ出すことだ。

アポロ 11 号は 7 月 20 日に月面へ着陸し、彼らが写した月面の映像は世界に衝撃を与え、人々を熱狂させた。しかしながら、今となっては彼らの月面着陸を疑う声もあり、かなりあやふやなものになってしまっている。

私たちが見いだした境界も、そしてそこに表れた世界自体も、曖昧性を含んでいた。その曖昧さを引き受け、それを前提として新しい世界を、そしてその見方を提示すること。それがこの写真展の目指すものである。

会期： 2007 年 7 月 17 日（火）～ 22 日（日）

11 時～ 19 時（最終日は 17 時まで）

会場： ギャラリー・ルデコ 6F（次ページ地図参照）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-16-3 ルデコビル

TEL：03-5485-5188 <http://home.att.ne.jp/gamma/ledeco/>

渋谷駅東口を出て明治通りを恵比寿方面に徒歩 5 分。渋谷駅新南口から徒歩 1 分。

明治通り沿い右手。

〈写真展の概要〉

写真専攻の学生 11 人による企画展。「境界」という一つの言葉を共通テーマとして、各自の視点でテーマを解釈し、モチーフを決め、作品をつくる。プリント作品・ポートフォリオから液晶ディスプレイによる展示まで、扱うモチーフによって様々な表現を展開する。最終日には写真家、評論家をゲストに招いて公開講評会を行う。

◇公開講評会

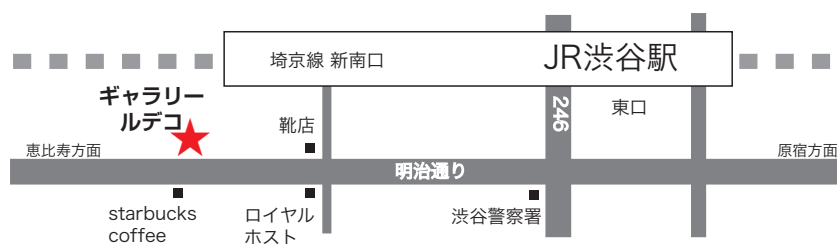
7月22日(日) 13:00～ ギャラリーにて

<ゲスト> 鷹野隆大(写真家・本校講師)
竹内万里子(写真評論家・本校講師)
林道郎(美術評論家・上智大学教授)ほか

<出品者>

五十嵐貴之、伊藤隆之、伊藤愛、桑原久美子、斎藤貴行、佐野飛鳥、関根陽子、仁井本大介、長谷川雅裕、松崎愛、吉川志津乃

<会場地図>



渋谷駅東口を出て明治通りを恵比寿方面に徒歩5分。
渋谷駅新南口から徒歩1分。 明治通り沿い右手。

主催：早稲田大学芸術学校空間映像科

169-0071 新宿区戸塚町1-103 早稲田STEP21ビル
03-5272-4599 eizoinfo@list.waseda.jp
<http://www.step21.jp>

早稲田大学芸術学校空間映像科では、
これからの視覚文化をリードする人材を育成しています。
大学生や社会人も含め、幅広い層の人々が学んでいます。
早稲田大学が設立した夜間の学校です。